

令和4年8月29日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

静岡県		
学校名	管理機関名	設置者の別
静岡県立清水南高等学校中等部	静岡県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
静岡県立清水南 高等学校中等部	<a href="http://www.shimizuminami.ed.jp/?page_id=39">http://www.shimizuminami.ed.jp/?page_id=39</a>

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
静岡県立清水南 高等学校中等部	<a href="http://www.shimizuminami.ed.jp/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E6%A6%82%E8%A6%81/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%87%AA%E5%B7%B1%E8%A9%95%E4%BE%A1/">http://www.shimizuminami.ed.jp/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E6%A6%82%E8%A6%81/%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%87%AA%E5%B7%B1%E8%A9%95%E4%BE%A1/</a>	

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

特別の教育課程の実施状況や取組の様子等について、学校ウェブページ等を通じて、保護者及び地域住民に広く情報提供を行っている。また、清水南高等学校中等部独自の授業「表現」で学んだことを合唱、ショークワイアー、ミュージカル等の演目を通じて学校文化祭などで発表し、校内の生徒だけではなく、保護者が参観可能な機会を設けている。発表の機会については、例年、地域住民など一般の方にもチラシ、

ポスター、ウェブページを通じて広く広報し、観覧することも可能にしているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から控えることとした。

なお、文化祭や取組の様子などについては、受検生を対象とした学校説明会においても紹介している。

#### 4. 実施の効果及び課題

清水南高等学校中等部においては、「富士の如く端正に、橘の如く香りが高く」の校訓の下、「高い知性と豊かな感性・表現力を備え、国際化社会に貢献できる人物の育成」を教育目標に掲げている。令和3年度については、「中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。」「効果的な生徒指導・保健指導を推進することで、規範意識と自己肯定感を高め、心身ともに健康な生徒を育成する。」「開かれた学校づくり、安心・安全の学校づくりを推進する。」を重点目標として、日々の教育活動に取り組んできた。

令和3年度に掲げた重点目標のうち、「中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。」ために、特別の教育課程において、独自の教科「表現」を設定している。その教科の目標として、「協調性、表現力、集中力が身に付けられるようにする」を掲げて取り組み、80%以上の生徒がその目標に到達することができたと評価した。そのため、特別の教育課程を編成したことが、生徒の成長に寄与していることが分かる。

一方で、本校職員は授業や活動の様子を通じて、生徒が先を見通して、状況に応じた行動をすることができれば、「表現」の価値が見いだされ、さらによりよい活動になるものと捉えている。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

清水南高等学校中等部は、公立中高一貫教育校として6年間を通じて、今後も高い知性と豊かな感性・表現力を備えた、国際社会に貢献できる人物の育成に力を入れていく。そのために、特別の教育課程・独自の教科「表現」を通じて、自分と向き合い「新たな自分づくり」「積極的に関わり合い、友人との人間関係づくり」を学ぶ機会としての授業・活動につながるように努めていく。その一つとして、「静岡舞台芸術センターSPAC (SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER)」との連携・協力のもと、教職員以外の外部講師にも講師を依頼し、生徒がより興味・関心を高めた「表現」への取組を促していけるように計画を進めている。